

2003年3月19日

県民意識調査 統一地方選 1 カ月前 報告書

(2003年3月12日～13日調査)

調査の設計	1
結果の概要	3
各問の単純集計	5



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610
<http://www.nagano-yoron.or.jp>

調査の設計

調査の目的

第 15 回統一地方選挙が迫り、4 月 13 日に県議、同 27 日には市町村の首長・議員の投票が行われる。県議選には告示 1 カ月前の 3 月初旬の段階で、定数 58（現在より 4 議席削減）に対して 107 人が立候補を表明、うち新人が現職の 42 人を上回る 64 人が名乗りを挙げる活況を呈している。

これには、県政レベルで「改革」を掲げる田中康夫知事の登場、とりわけ昨年夏の議会による知事不信任 - 出直し知事選の再選という厳しい対決を経て、県議会の位置づけと役割がトータルに見直しを迫られるに至った背景があり、県民自身も県政の現況と将来にどう審判を下すか、従前にはない試練に立たされる場面である。

加えて、地方自治制度自体が権限、財政の両面から、国政とのかかわりの洗い直しを迫られ、身近には“平成の大合併”の生き残りの選択が進行中である。政治、経済、文化、暮らしのあらゆる面で、戦後体制の機軸が大きく転回しつつある中で、県民にとってはさまざまな意味で「自立」を考える機会でもあり、その 1 票がどのように行使されようとしているのか「県議選投票 1 カ月前」の世論の動向を探る。

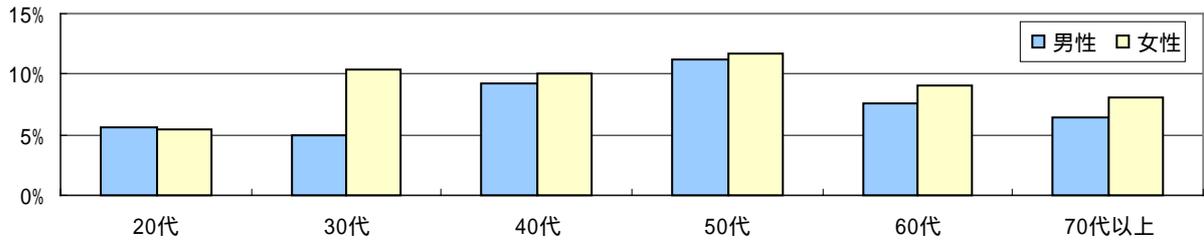
調査の設計

調査対象	長野県内に住む 20 歳以上の男女 800 人
抽出方法	県内を東北中南の 4 地区に分け、さらに 20～70 代以上の 6 つの年代層・性に分割し、有権者数による比例配分で、各市および各郡下の一定町村の対象者数を設定。NTT の電話帳から一定のルールにより、無作為抽出した世帯から、設定した年代・性の人を 1 人選んだ。
調査方法	電話
調査期間	2003 年 3 月 12 日～13 日
調査地点	17 市 17 町 11 村
回答結果	800 人（男性 361 人 女性 439 人） ・総コール数 6720 回 ・不完了 5920 回（不在・該当なし 40.9% 不出 24.3% 拒否 11.9% 留守電 9.4%）

サンプルの内訳

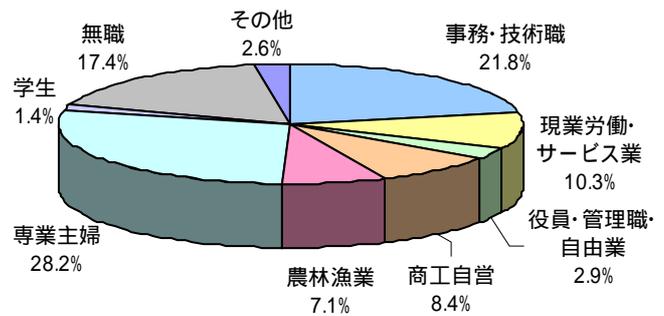
【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
全体	800	88	123	155	184	134	116
	100.0%	11.0%	15.4%	19.4%	23.0%	16.8%	14.5%
男性	361	45	40	74	90	61	51
	45.1%	5.6%	5.0%	9.3%	11.3%	7.6%	6.4%
女性	439	43	83	81	94	73	65
	54.9%	5.4%	10.4%	10.1%	11.8%	9.1%	8.1%



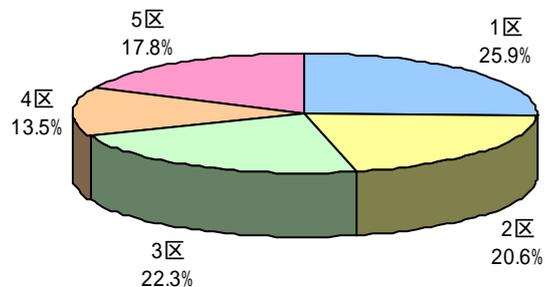
【職業】

事務・技術職	174	21.8%
現業労働・サービス業	82	10.3%
役員・管理職・自由業	23	2.9%
商工自営	67	8.4%
農林漁業	57	7.1%
専業主婦	226	28.2%
学生	11	1.4%
無職	139	17.4%
その他	21	2.6%



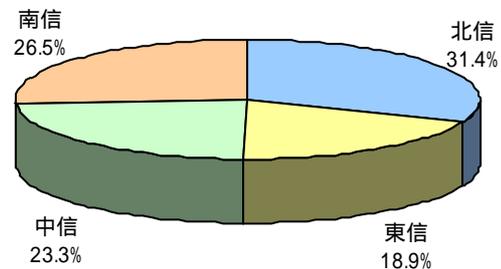
【選挙区】

1区	207	25.9%
2区	165	20.6%
3区	178	22.3%
4区	108	13.5%
5区	142	17.8%



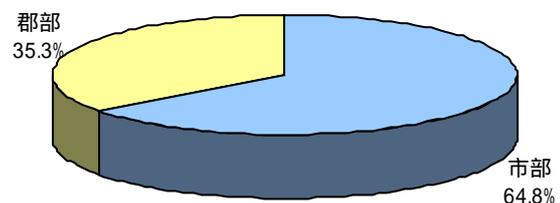
【地域】

北信	251	31.4%
東信	151	18.9%
中信	186	23.3%
南信	212	26.5%



【市郡別】

市部	518	64.8%
郡部	282	35.3%



結果の概要

国政・県政・市町村行政～関心度の比較

「国政」「県政」「市町村行政」のうち、日ごろもっとも関心が強いのは「市町村行政」と「国政」が3割台でほぼ肩を並べた。「県政」は田中康夫知事の登場以来、話題性が高まっているが、やや水をあけられたかたちだ。

県政

県会議員の評価

【民意の反映】

県会議員が住民の意思を「反映している」は2割台にとどまり「反映していない」という否定的な感度が6割を突破した。その半面、田中知事については肯定的な人が5割半ば、否定的な反応は3割だった。

【陳情・頼みごと】

県議に対する働きかけの経験が「ある」は1割強に過ぎず「ない」が9割近くにのぼる。自民党、民主党の支持層の接触が多めだ。

県会議員への期待

【役割】

重視するのは「県政と県民とのパイプ役」が5割半ばでもっとも多く「知事への政策提言」が2割半ば。「チェック機能」は1割に届かない。1999年秋の「21世紀に向けた県政の課題」がテーマの当協会調査で、それぞれ単発で聞いた際は「もっと熱心であってほしい」との要望が「パイプ役」70%、「チェック機能」67%、「政策提言」65%だった。

【女性県議の数】

「どちらかといえば増えてほしい」が6割近く。「現在の程度」が3割に迫り、減少を望むのはごく少ない。

【若手県議】

「増えてほしい」が7割半ばを占め、現状維持が1割半ばにとどまる。

【多選】

知事と県議の「双方ともに制限があってもよい」が7割を超す。2番目は「現状のとおり」で1割強を示す。

市町村行政

議員・首長の評価

【民意の反映】

地元の議員が住民の意思を「どちらかといえば反映しているか、否か」はまったく伯仲。市町村長では「反映」が約5割にのぼり、やや優勢ぶりを示す。

【陳情・頼みごと】

「ない」が7割を突破する中で、高い年代層、農林業が多め。中信で議員との接触度が高めに出ている。

【議会の傍聴】

「ない」が8割を超え「ある」は全般的に少ないが、70代以上（以下「70代」と略記）で多い。郡部の傍聴が市部に比べて活発だ。

議員・首長への期待

【議員の数】

「多い」が4割半ばを超え「現状のまま」がわずかな差で続く。男性に「多い」という受けとめが強め。管理職層や商工自営の目が厳しい。

【女性議員】

「増えてほしい」が半数を超え、女性や若い年代層の期待度が高め。「現状の程度」が3割半ば。

【高齢化議員】

6割半ばが「減ってほしい」と望んでおり、市部で多めになっている。

県・市町村の優先施策

地方自治体の仕事で最優先してほしいのは「景気・雇用」がトップ。上位には「高齢者介護」「財政健全化」がランクされた。

県・市町村の課題と取りくみ

【住民投票】

常設の条例化を含めて、全国的な広がりのある課題になっているが「どちらかといえば望ましい」が8割を超す。女性や若い年代層の共感性が高めだ。

【永住外国人の投票権や公務員採用】

好意的な受けとめが6割を超したが、自民党、民主党の支持層はやや消極的。

【住基ネット】

「望ましくない」が約6割にのぼる。1999年9月の当協会モニター調査（登録500人）では「よい」20%、「よくない」46%、「なんともいえない」34%だった。

【市町村合併】

「望ましい」が4割半ばを超え優勢だったものの「望ましくない」との開きはあまり大きくない。郡部で消極的な受けとめが強め。

統一地方選への関心

県議選投票1カ月前の調査時点で「関心がある」は総体で8割に迫る勢いで、うち「強い関心」だけで3割台を示す。年代層が高まるほどに増える。「関心がない」は合わせて2割強。女性や20～30代、無党派層の関心がいまひとつ。

県議選の投票で重視すること

投票に際して、重視するのは、候補の「公約」と「人柄」の順で上位に挙げられ「地元の候補」に続き、今回新たに選択肢に加わった「田中県政・知事との関係」が四番手にランクされた。

政党支持

自民党が首位の17.9%、民主党はその半分程度の8.3%。4年前の統一地方選の時と比べて両党の差は開いたが、共産党（5.0%）は3位をキープし、めだった変動はない。4位以下は僅差で公明党、社民党、自由党の順。

支持政党なしは59.4%で、前回よりもやや増えた。

単純集計

最も関心があるのは「市町村行政」と「国政」並ぶ

問1 日ごろ「国政」「県政」「市町村の行政」のうち、もっとも関心を持っているのはどれですか		
市町村の行政	253	31.6%
国政	250	31.3%
県政	182	22.8%
とくにない	100	12.5%
どちらともいえない	15	1.9%

県会議員「住民の意思を反映していない」6割突破

問2 選挙で選ばれた市町村長や議員は、住民の意思を反映していると思いますか		
A 地元の市町村議員について		
どちらかといえば反映している	356	44.5%
どちらかといえば反映していない	353	44.1%
どちらともいえない	91	11.4%
B 地元の市町村長について		
どちらかといえば反映している	394	49.3%
どちらかといえば反映していない	323	40.4%
どちらともいえない	83	10.4%
C 県会議員について		
どちらかといえば反映している	188	23.5%
どちらかといえば反映していない	494	61.8%
どちらともいえない	118	14.8%
D 知事について		
どちらかといえば反映している	443	55.4%
どちらかといえば反映していない	246	30.8%
どちらともいえない	111	13.9%

県会の役割「県と県民のパイプ役」56%「チェック」9%

問3 県政や県議会について		
A 地域や仕事、個人的なことを含めて県会議員に陳情や頼みごとをしたことがありますか		
ある	93	11.6%
ない	705	88.1%
はっきりしない	2	0.3%
B 県行政・知事との関係で、県議会の役割は、どんなことに重点を置くべきだと思いますか		
県行政・知事と県民のパイプ役	448	56.0%
県行政・知事への政策の提言	208	26.0%
県行政・知事のチェック機能	73	9.1%
その他	12	1.5%
なんともいえない・わからない	59	7.4%
C 女性の県会議員の数について、どう思いますか		
どちらかといえば増えてほしい	470	58.8%
現在の程度でよい	230	28.7%
どちらかといえば減ってほしい	26	3.3%
とくにこだわらない・なんともいえない	74	9.3%
D 若手の県会議員の数について、どう思いますか		
どちらかといえば増えてほしい	617	77.1%
現在の程度でよい	124	15.5%
どちらかといえば減ってほしい	19	2.4%
とくにこだわらない・なんともいえない	40	5.0%

E 知事や県会議員が長く務めることについて、どう思いますか		
知事・議員ともに、制限があってもよい	567	70.9%
知事・議員ともに、現状のとおりでかまわない	98	12.3%
知事はかまわないが、議員には制限があってもよい	73	9.1%
知事には制限があってもよいが、議員はかまわない	34	4.3%
なんともいえない・わからない	28	3.5%

99年3月 地方自治体では首長、議員の多選の善し悪しが話題になることがあります。「4選以上」を対象に考えるとすれば、あなたは どう思いますか	
多選でもかまわない	17.9%
多選は好ましくない	34.3%
なんともいえない	46.8%
わからない	1.1%

市町村議員「女性が増えてほしい」半数を越す

問4 市町村議会について			99年3月(注)
A 地域や仕事、個人的なことを含めて、地元の市町村議員に陳情や頼みごとをしたことがありますか			
ある	209	26.1%	21.5%
ない	590	73.8%	78.5%
はっきりしない	1	0.1%	-
(注)「県や市町村の議員に陳情や頼みごとをしたことがありますか」と質問した			
B 議会を傍聴したことがありますか			99年3月(注)
ある	138	17.3%	12.0%
ない	662	82.8%	88.0%
はっきりしない	0	0.0%	-
(注)「県や市町村議会の傍聴をしたことがありますか」と質問した			
C 地元の市町村議会の議員の人数について、どう思いますか			1999年3月
どちらかといえば多い	375	46.9%	35.5%
現在の程度でよい	339	42.4%	40.9%
どちらかといえば少ない	36	4.5%	2.6%
なんともいえない・わからない	50	6.3%	21.0%
D 地元の女性の市町村議員の数について、どう思いますか			99年3月(注)
どちらかといえば増えてほしい	427	53.4%	54.1%
現状の程度でよい	284	35.5%	17.5%
どちらかといえば減ってほしい	29	3.6%	5.1%
とくにこだわらない・なんともいえない	60	7.5%	23.3%
(注)「地元自治体の女性の首長・議員の数についてどう思いますか」と質問した			
E 地元の高齢の市町村議員の数について、どう思いますか			
どちらかといえば増えてほしい	17	2.1%	
現状の程度でよい	222	27.8%	
どちらかといえば減ってほしい	518	64.8%	
とくにこだわらない・なんともいえない	43	5.4%	

行政が最優先すべきは「雇用」筆頭に「介護」「財政」

問5 県や市町村の仕事で、次に挙げる主要な具体策では、最優先して力を入れてほしいのは何ですか			99年3月(注)
景気・雇用	231	28.9%	28.5%
高齢者介護	171	21.4%	29.5%
財政健全化	156	19.5%	10.9%
ごみ・廃棄物	85	10.6%	28.3%
中心街の活性化	69	8.6%	7.0%
ゆとり教育・少人数学級	67	8.4%	-
あてはまるものはない・なんともいえない	21	2.6%	-

(注)県や市町村の仕事で力を入れてほしい内容を、5項目から1番目から3番目まで順位をつける形式で質問した

住民投票「望ましい」8割 市町村合併は半数に届かず

問6 県や市町村の課題や取り組みについて、どう思いますか			99年3月(注)	
A 重要な問題の方向を決めるための住民投票について				
どちらかといえば望ましい	643	80.4%	72.5%	
どちらかといえば望ましくない	104	13.0%	6.0%	
なんともいえない・わからない	53	6.6%	21.5%	
(注) 選択肢は「熱心に取り組んでほしい」「あまり熱心でなくてもよい」「よくわからない・なんともいえない」				
B 昨年夏にスタートした住民基本台帳ネットワーク・システム(住基ネット)について				
どちらかといえば望ましい	190	23.8%		
どちらかといえば望ましくない	476	59.5%		
なんともいえない・わからない	134	16.8%		
C 市町村合併について				
どちらかといえば望ましい	371	46.4%		
どちらかといえば望ましくない	306	38.3%		
なんともいえない・わからない	123	15.4%		
D 永住外国人の投票権や公務員採用				
どちらかといえば望ましい	490	61.3%		
どちらかといえば望ましくない	230	28.7%		
なんともいえない・わからない	80	10.0%		

統一地方選「関心ある」全体で8割近く

問7 4月の統一地方選挙に関心がありますか		
強い関心がある	269	33.6%
どちらかといえば関心がある	356	44.5%
どちらかといえば関心はない	143	17.9%
全く関心がない	26	3.3%
どちらともいえない	6	0.8%

県議選の投票で重視「公約」と「人柄」が上位に

問8 県会議員選挙では、候補者との関係で、どんなことを重くみて投票しますか(2つ以内)			99年3月(注)	
候補の公約	398	49.8%	43.1%	
候補の人柄	341	42.6%	54.5%	
地元の候補	232	29.0%	35.4%	
田中知事・県政との関係	221	27.6%	-	
候補の属する政党	83	10.4%	24.4%	
仕事の関係	56	7.0%	11.9%	
個人的なつながり	30	3.8%	11.0%	
その他	13	1.6%	1.5%	
答えたくない・わからない	19	2.4%	0.9%	

(注)「県議選や市町村選挙で投票する場合、どんなことを重く見て選びますか」と質問した

自民17.9% 民主8.3% 無党派層59.4%

問9 どの政党を支持しますか			99年3月(注)	
自民党	143	17.9%	15.4%	
民主党	66	8.3%	11.8%	
共産党	40	5.0%	6.3%	
公明党	30	3.8%	3.1%	
社民党	13	1.6%	3.8%	
自由党	11	1.4%	1.5%	
保守新党	0	0.0%	-	
その他の政党	5	0.6%	1.0%	
支持する政党はない	475	59.4%	55.0%	
答えたくない・わからない	17	2.1%	2.3%	